



学校だより

7 月 号

2021年6月30日
横浜市立中村小学校



HPアドレス

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nakamura/>

～ 安心して 生活するために ～

児童支援専任 澤野 和泉

梅雨を迎え、雨の日が増えてきました。梅雨の合間の晴れた暑い日には、高学年の子どもたちは、暑さ指数計(WBGT計)を見に来て「体育はできそう。」「外遊びできるな。」と話しています。熱中症予防にも気を配りながら学習などに取り組んでいきます。

学校では、一人一台配られたタブレットでインターネットを使って学習をする機会が増えていきます。家庭でも、オンラインゲームをしたり、スマホを持ち始めたり、インターネットを使って学習したりしている子もいるようです。その中で、困ったことやトラブルが起きて相談を受けることがあります。

6月15日には、南警察のスクールサポーターの小林さんに来ていただいて、5・6年生を対象に「サイバー犯罪防止教室」を行いました。ゲームで知り合った人に自画撮りを送ってしまったケース、メッセージアプリでのやり取りが誤解を与え実際の人間関係を壊してしまったケースをもとに学習しました。子どもたちは、「そんなことしないよ。」という反応を示していましたが、実際にネットで知り合った人に自画撮りを送ったり、会う約束をしたりして事件に巻き込まれている子どもたちがいます。

子どもたちに自分事として考えてもらうために、南区では「横浜子ども会議」のテーマを「誰にとっても居心地のよい学校づくり～ネット世界でも気持ちよく過ごすために～」とし、子どもたち自身でインターネットの使い方を話し合う機会にしています。中村小学校でも、7月の代表委員会の議題にし、全校児童で話し合います。そしてそれをもとに、学校代表児童が平楽中ブロック子ども会議、南区子ども会議で話し合い、南区ネットスタンダードのスローガンを決めます。

インターネットは、便利なツールです。しかし、使い方を間違えると、友達とのトラブルだけでなく、事件に巻き込まれる可能性がないとは言えません。携帯電話、スマートフォン、PC、オンラインゲーム、SNSを利用している場合は、その使い方をご家庭でももう一度確認していただければと思います。また、使用する時間、内容等も定期的にチェックをお願いします。

今後も、困ったことがあったときに、大人に相談する力をつけられるように指導するとともに、私たち教職員も、子どもたちからの小さなSOSを見逃さないようにすることや、相談しやすい環境を整えることを大切にしていきます。ご家庭でお子様の様子がいつもと違うなと思ったときには、ぜひご相談ください。